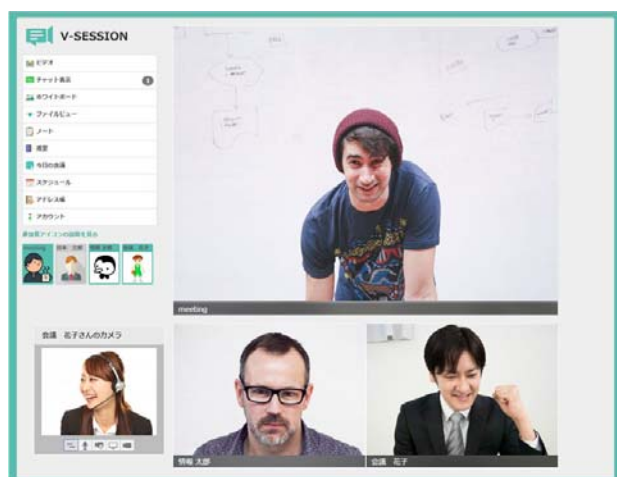


製品・サービス動向-国内

■日本トータルシステム：クラウド型 WEB 会議サービス、有償プランやセキュリティを高める機能の提供を開始

(10月4日)

日本トータルシステム株式会社 (<http://www.sjts.co.jp/>) (北海道札幌市) は、クラウド型 WEB 会議サービス「V-SESSION (バイセッション)」に最大 10 ユーザが会議へ参加できる有償プランを追加し、10月4日に提供開始した。



V-SESSION 画面イメージ 複数人会議イメージ

(日本トータルシステム)

V-SESSION は、WEB ブラウザから利用できる WEB 会議で、無料から利用できる。利用にあたっては、専用のソフトウェアをインストールしたり、ゲストユーザがアカウント登録を行ったりする必要はない。ビデオミーティング、チャット、ホワイトボード、ノート、ファイル転送、アドレス帳、招待などの機能がある。

また、“超簡単”をキャッチフレーズに簡便性を追求し、WEB 会議に招待される側のユーザはメールに記載された URL をワンクリック (約 1 秒) するだけで会議

に参加することが可能となっている。

従来、同社では、フリープラン (無料、個人利用のみ、1対1の会議のみ) を提供してきたが、この度、法人向けの有償プラン「スタータープラン」「スタンダードプラン」「プレミアムプラン」の3種類を提供開始する。

これら3プランは、1会議最大10ユーザが参加可能という点は同じだが、ユーザ登録数が、スタータープランでは20人迄 (24,000円/月)、スタンダードプランでは30人迄 (30,000円/月)、プレミアムプランでは50人迄 (40,000円/月) と、それぞれのプランで異なる形になっており、月額費用もそれに応じて異なる。

加えて、有償プランでは、セキュリティを高める IP アドレス制限、操作ログの検索閲覧機能、共有アドレス帳機能も利用できるようになっている。

■ライド：中小企業向けに最適化されたクラウド型の WEB 会議システムの提供開始、無料お試し受付も開始

(ValuePress!：10月11日)

ライド株式会社 (<http://www.speever.jp/>) (東京都千代田区) は、ブラウザからログインするだけで簡単にウェブ会議が始められるクラウド型の WEB 会議システム「クラウドミーティング」の提供を開始する。また同時に無料お試しの受付も開始する。

クラウドミーティングは、中小企業がウェブ会議を初めて行うことを想定し、必要最小限の機能に絞ったエントリーモデルと同社では位置づける。そのため、

最大でも 10 名までの同時接続で、高画質モードはオプションとし、モバイル機能や録画機能には対応していない。ただし、SSL に対応した通信の暗号化のほか、データ保存や印刷機能に対応していないため、セキュリティの面で安心して利用できるとしている。

レンタルサーバ事業を展開している同社がクラウドミーティングを提供開始したのは、同社のグループ会社の法人営業の経験から既存の他社製ウェブ会議やテレビ会議サービスが中小企業にとって料金面で折り合いがつかないケースが多く、また、一方で無料アプリの有償ビジネス版であっても「料金は安くても音が途切れたり、声が大きく遅れたりで会議にならなくて困る」といったユーザからの声があったからという。自社でクラウド上のサーバにウェブ会議システムを構築し、機能・操作・価格を中小企業向けに最適化。そこから生み出されたのがこのクラウドミーティングだ。

初期費用は、19,800 円。月額費用は、1,980 円/ID (同時接続数)。なお契約は 2ID から。最大 10ID までのプラン設定となっている。

10 月 11 日より無料お試しの受付を開始し、11 月 7 日より販売開始する。

ビジネス動向-国内

■プリンストン：シスコシステムズのコミュニケーション製品の取り扱いを開始

(10 月 3 日)

株式会社プリンストン(<http://www.princeton.co.jp/>) (東京都千代田区) は、シスコシステムズ合同会社 (http://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html) (東京都港区) のコミュニケーション製品の取り扱いを開始すると発表。

これにより、コミュニケーションビジネスのマルチベンダーとしてこれまで多くの実績を残しているプリンストンは、今後シスコのプロダクトを取り扱うこと

で、ビデオ会議や Web 会議をオンプレミス・クラウドの環境を問わずにより柔軟なソリューション提供が可能になったという。

■ネットワンパートナーズ：日本アバイアと UC ソリューション提供でディストリビュータ契約を締結

(10 月 6 日)

ネットワンパートナーズ株式会社 (<http://www.netone-pa.co.jp/>) (東京都千代田区) は、日本アバイア株式会社 (<http://www.avaya.com/jp/>)

(東京都港区) とディストリビュータ契約を締結し、モバイル利用にフォーカスし運用管理が容易な、中堅・中小企業向け ユニファイド・コラボレーションソリューション「Avaya Office」を、パートナー企業経由で 10 月 6 日より販売開始する。

ワークスタイル変革を実現するため、コミュニケーションを効率化できる UC 導入の要望が高まっているが、中堅・中小企業では UC 基盤の専門知識を持つ IT 運用担当者がない、もしくは、少ないことが導入の課題になっていた。

これに対して、Avaya Office は、中堅・中小企業向けに導入しやすくしたパッケージソリューション。固定電話に依存せずに、スマートフォンを中心としたコミュニケーション環境を実現し、モバイル上で、各種電話機能/ビジネスチャット/プレゼンス/電話会議などの UC 機能全てが簡単な操作で利用可能となっている。

また、ユーザの追加・変更・削除などのほとんどの設定が Web 画面で直感的に操作できるため、PBX の専門知識をもった専属の IT 運用担当者を常に配置する必要がなくなり、作業負荷や運用コストも削減することができる。

ネットワンパートナーズとしては、すでに大規模企業向けにシスコシステムズの UC ソリューションを提

供しているが、今後、中堅・中小企業においてもワークスタイル変革の需要拡大が見込めることから、Avaya Office を取り扱いポートフォリオに追加することで、顧客の要望に適した UC ソリューションを提供していくとしている。

■資生堂：オンライ会議時の自動メイクアプリ「TeleBeauty」を開発、日本マイクロソフトと連携し、「Skype for Business」用アプリとして試験運用を実施

(10月7日)

株式会社資生堂 (<http://www.shiseidogroup.jp/>) (東京都中央区) は、日本マイクロソフト株式会社 (<https://www.microsoft.com/ja-jp/>) (東京都品川区) の協力のもと、オンライン会議で通信中の画面に表示される顔に自動でメイクや顔色補正を行う「TeleBeauty (テレビューティー)」を開発した。



TeleBeauty (資生堂)

TeleBeauty が開発された背景として、テレワークが広がる中、テレワークを行う際に発生する女性ならではの悩みがある。外出予定がない在宅勤務時にオンライン会議のためだけのメイクを負担に思っている、プライベートである自室の映り込みを好まない、パソコンのカメラ性能によっては肌がきれいに見えにくい、といった不満があった。

今回、日本マイクロソフトより技術支援を受け、「Skype for Business」に対応する試用モデルを開発。

TeleBeauty では、資生堂のアーティストが持つメイク技術、1999 年から研究し店頭で運用してきた実績もあるメイクのシミュレーション技術、トレンド情報などを活用し、顔を映すだけで画面上の顔にメイクを施す(自動メイク)ほか、顔色の明るさと色を補正したり、肌のテクスチャーを補正したり、目元・口元のメイクの濃淡を調整したり、あるいは顔以外の部分をぼかすなどの機能が搭載されている。

自動メイクでは、「Natural (自然なメイク)」「Trend (2016 年の流行)」「Cool (シャープ)」「Feminine(かわいらしい)」といった4種類のメイクパターンをワンクリックで画面の顔に反映させる機能がある。

これらの機能はリアルタイムで顔の動きに連動するため、実際にメイクをしているように感じられる。また、会議前に手間がかからないように、簡単に操作できるようにデザインされている。

資生堂によると、TeleBeauty は、女性の活躍を応援し、楽しみながら仕事を続けていただくことを狙いとしているという。日本マイクロソフトが実施する「働き方改革週間 2016」(10月17日~21日)において賛同法人による試験運用を行う予定となっている。

ビジネス動向-海外

■ポリコム社：「Skype for Business」音声/ビデオ会議ソリューションポートフォリオを拡大

(米国：9月26日、日本：10月6日)

ポリコム社 (<http://www.polycom.com/>) (米国・カリフォルニア州) とマイクロソフト社 (<https://www.microsoft.com>) (米国・ワシントン州) は、「Skype for Business」のユーザエクスペリエンスを新規および既存の音声/ビデオ製品およびサービスに拡大するという計画を発表した。

今回発表された計画のまず一つ目は、すでに発表し

ている「Office365」対応のクラウドベースビデオ相互運用サービス「Polycom RealConnect Service for Office 365」の提供を開始するという内容。

このサービスにより、Office365 を利用している Skype for Business ユーザは、Skype for Business に対応していないビデオ会議システム（国際標準規格準拠）とのビデオ会議を開催できるようになった。

機能については、現在オンプレミス上で Skype for Business を使用しているユーザに提供されている Polycom RealConnect ソリューションと同様になる。つまり、Skype for Business 会議端末と Skype for Business に対応していない会議端末にいずれにおいても、共通した同じ Skype for Business 会議エクスペリエンスを提供する形になる。

計画の二つ目は、ポリコム社は、新しい「Microsoft Skype Room System（コード名：Project Rigel（プロジェクトリゲル）」対応の「Polycom MSR シリーズ」において、Skype for Business とネイティブで連携する会議ソリューションを拡大するというもの。

Skype Room System 用 MSR シリーズは、高品質な HD 音声/映像と Skype for Business 会議エクスペリエンスをあらゆる会議室で実現する。

MSR シリーズは、グループコラボレーション用スマートハブ「Polycom RealPresence Trio シリーズ」のほか、360 度のパノラマカメラを備えた「ユニファイドカンファレンスステーション Polycom CX5100」、さらには「Polycom RealPresence Medialign」などの強力な音声/ビデオ会議ソリューションと組み合わせて利用することもできる。

小規模な会議室から大規模な会議室まで対応する MSR シリーズソリューションは、2017 年第 1 四半期に北米で発売予定となっている。予約受付はすでに開始しているという。

マイクロソフト社と 12 年にわたりパートナーシップを結んでいるポリコム社は、Skype for Business お

よび Office365 と緊密に統合可能な音声/ビデオ会議ソリューションを他のどのコラボレーションプロバイダーよりも多く提供してきた実績がある。これらのソリューションによって、IT リーダーはユーザーニーズへの対応とともに、増収、コスト削減、生産性の向上を実現できるとしている。

■ポリコム社：ポリコムビデオ会議/音声会議ソリューションが Skype for Business ユーザーインターフェイスに対応、Skype Operations Framework パートナーに

（米国：9月26日、日本：10月6日）

ポリコム社 (<http://www.polycom.com/>)（米国・カリフォルニア州）は、同社が提供する「Polycom RealPresence Group シリーズビデオ会議システム」に「Skype for Business ユーザーインターフェイス」を組み込むことを発表した。また、「Polycom VVX 500/600 ビジネスメディアフォン」と「Polycom RealPresence Trio 音声会議システム」にも Skype for Business ユーザーインターフェイスを組み込む予定だ。

ユーザの利用を促進するには、コラボレーションを行うビデオ会議のスケジュール設定・参加・管理の一貫性が不可欠という。そこで、ポリコム社は、これを実現するために、操作性に優れた Skype for Business エクスペリエンスを、デスクトップやモバイル用アプリケーションだけでなく、あらゆる規模の会議室やオフィスで使用される一般的な音声会議/ビデオ会議ソリューションでも利用できるようにした。

Polycom RealPresence Group シリーズ、VVX フォン、RealPresence Trio 音声会議システムソリューションに Skype for Business ユーザーインターフェイスが組み込まれることで、会議環境が統一され、Skype for Business ユーザにとって、より優れたコラボレーションが行えるようになるという。

対象となるポリコムソリューションを現在使用して

いて、Skype for Business 環境に移行済み、もしくは移行予定のユーザは、ソフトウェアをダウンロードするだけでこの新しいユーザインターフェイスにアクセスできるようになる。3つのソリューションはすべて、第4四半期に Office365 認定を取得し、リリースする予定となっている。

ポリコム社は、正式に Skype Operations Framework パートナーになった。Skype for Business のライフサイクルの、計画・展開・導入・運用などのあらゆる局面でユーザの支援を行うとしている。

■ブイキューブ：タイに現地法人を設立し、ASEAN でのサービス展開を強化

(10月3日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、9月1日、タイに現地法人 V-cube(Thailand) Co., Ltd. を設立したと発表。同国でのサービス展開と顧客サポートの強化していくため。

これまで、タイにおける事業展開は、隣国マレーシアにある現地法人 V-cube Malaysia Sdn. Bhd. で実施してきた。V-CUBE は、タイ語のインターフェイスにも対応しており、国際間も安定した通信環境を実現する「Global Link」などタイ国内の顧客から高い評価を得ていた。

たとえば、国立大学(Kasetsart University)、IT リテール企業「IT City Public company limited」、SPVi Public company limited、IT 企業「DataOne Asia(Thailand) Co., Ltd」などといった、教育機関や現地企業、官公庁の数十社にビジュアルコミュニケーションサービス「V-CUBE」が導入されている。

タイでの導入数が増加しており、手厚いサポートが求められるようになってきたことから、顧客のニーズに柔軟に対応できる体制を同国内に整え、進出が進む日系企業や現地企業のビジネスの効率化に貢献していく考えだ。

導入利用動向-国内

■ブイキューブ：りそなホールディングス、「V-CUBE」で約 600 店舗の窓口相談を遠隔から実現

(10月12日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、株式会社りそなホールディングス (<http://www.resona-gr.co.jp/>) (東京都江東区) に、ビジュアルコミュニケーションサービス「V-CUBE」を提供したと発表。

りそな HD 傘下の株式会社りそな銀行、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社近畿大阪銀行の約 600 店舗において、窓口での金融商品に関する顧客相談業務を、専任担当者が遠隔から対応する仕組みを V-CUBE で実現している。3年をかけて全国の店舗への展開を進め、2015年は約3万5,000件の相談業務で利用されたという。

V-CUBE は、営業店に来店する顧客と遠隔のセンターにいる専任担当者が1つの画面で、記入箇所の多い書類のポイントを指示しながら相談できる仕組みを提供している。また、書類の共有に必要な周辺機器との連携が可能で、1回あたりの相談時間が90分近くになる、電話では困難な長時間のケースでも、顧客が対面と同じ感覚で利用できるようになっている。

評価された点は、(1) テレビ会議システムと比較してコストを抑え、セールス事務を合理化できるコミュニケーションサービスであること、(2) 来店顧客が対面相談と同じ感覚で利用が可能であること、(3) 相談業務に特化したカスタマイズ開発が可能であることなどがある。

金融商品は、多様化・複雑化しており、顧客窓口業務の中には、高い専門スキルが要求される分野が増えている。そのひとつである住宅ローン分野において、りそな HD では、これまで、先述の3銀行の店舗窓口

に持ち込まれる、さまざま相談や煩雑な事務処理を伴う窓口業務を IT で合理化し、来店顧客の待ち時間の削減と満足度向上を目指していた。

そこで、国内2カ所のセンターから、ローン相談に関する専門的な知識を備えた行員が全国の店舗に設置された専用端末越しに、顧客からの相談にリアルタイムに対応するコミュニケーションインフラとして、より利便性が高いサービスへの移行を検討していた。

導入事例の詳細：

<https://jp.vcube.com/case/7601.html>

■ブイキューブ：伊予銀行、個人向け資産運用 Web セミナーを「V-CUBE」を採用して開催

(10月14日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、株式会社伊予銀行 (<http://www.iyobank.co.jp/>) (愛媛県松山市) がビジュアルコミュニケーションサービス「V-CUBE」を導入したと発表。

伊予銀行では、個人顧客に向けた資産運用の Web セミナーを11月より開催する。参加者は自宅など任意の場所から PC やタブレット端末で参加が可能となっている。

同行では、インターネット投資信託の中心顧客層として期待される30から40の年代層との顧客接点の強化を課題のひとつとしており、これまで平日日中時間帯にホテルなどの会場で投資信託セミナーを実施してきた。

しかし、多忙な現役層であるため、「セミナーの開催時間が合わない」「そもそもセミナーへの参加が難しい」という課題があり、それらを解決できる方法を模索していた。

そこで、V-CUBE を利用した Web セミナーにより、これまで会場でのセミナー参加が難しかった多忙な現

役層も参加しやすい環境を整えた。また、会場セミナーと同様に、資料を指示しながらの講演やテキストチャットを用いた双方向質疑応答が行えるといった点などが評価され、4月からの試行利用を経て、継続導入が決定された。

また一方で、金融における重大ニュースが発生した場合には、顧客の資産運用にどのような影響が懸念されるかを紹介する緊急セミナーを開催できるなど Web セミナーの柔軟性と利便性の高さも評価されたという。

導入事例の詳細：

<https://jp.vcube.com/case/8101.html>

Report

※CNAレポート・ジャパン橋本啓介による検証・取材レポート

■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する
<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（前編）
<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（後編）
<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■パイオニア VC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔
コラボレーションシステム「xSync Prime
Collaboration」取材レポート

<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

PR

(広告掲載順)

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社ブイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方をデモを交えてご紹介～

日時：10月・11月・12月

会場：東京都・大阪府・愛知県・三重県・静岡県

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

<https://jp.vcube.com/event/seminar/201606151900.html>

※その他セミナー情報：<https://jp.vcube.com/event/seminar/>

■ワークスタイル変革 実践事例セミナー～コミュニケー
ション・コラボレーション変革からはじめるワークスタイル
変革～

日時：10月26日(水) 10:00～17:00 (受付：09:30～)

※午前と午後の部2回開催。同じ内容のためいずれかを選択。

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム
(東京都中央区)

主催：株式会社リコービジネスソリューションズ事業本部
VC 事業センター

詳細・申込：<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/16S013.html>

■VTV ジャパンクラウドセミナー【注目度 No.1! 世界で浸透
するビデオ会議クラウドサービス!!】

日時：11月16日(水)・17日(木)・18日(金)

各日 15:00～

会場：VTV ジャパン 東京オフィス・大阪オフィス同時開催

主催：VTV ジャパン株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/1611vtv/>

※「Lifesize Cloud」と「BlueJeans」の紹介。

■ポリコム オンデマンド Webinar ポリコムのマイクロ
ソフト連携紹介

第一回 Webinar(所要時間：31分)

「これまで以上のビジネスをポリコムでシンプルに実現」

第二回 Webinar(所要時間：41分)

「ポリコムとマイクロソフト Sfb ソリューションのネイ
ティブ連携 - 利点と実現方法」

第三回 Webinar(所要時間：34分)

「Office 365 環境におけるポリコムとマイクロソフト Sfb
ソリューションのネイティブ連携」

会場：オンラインで視聴

詳細・申込：

<http://www.polycom.co.jp/forms/microsoft/skype-for-business-webinar.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外のさまざまな情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年10月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp